

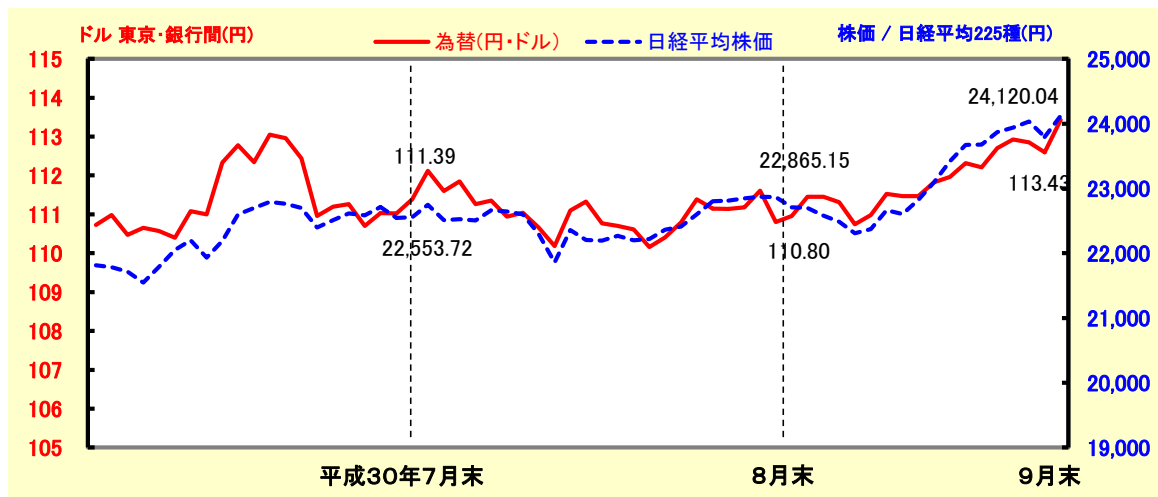
みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 平成30年7月～9月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

平成30年7～9月期の業況/平成30年10～12月期の業況予想

今回の調査実施時期

平成30年9月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	61先
卸売業	25先	サービス業	60先
建設業	22先	不動産業	16先

調査方法

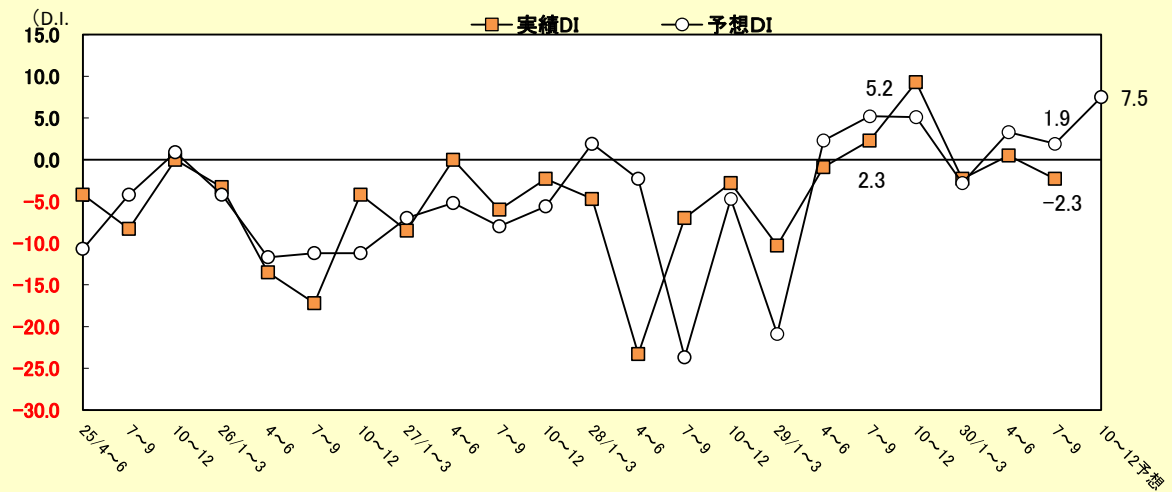
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



		7~9月期実績				10~12月期予想			
		総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総	合	▲2.3	▲4.4	0.0	▲2.5	7.5	1.1	13.1	10.0
製	造	▲9.6	▲12.5	▲20.0	0.0	▲3.2	▲12.5	▲20.0	20.0
小	売	▲10.0	▲7.6	▲7.6	▲25.0	1.6	▲8.0	11.5	0.0
卸	売	0.0	11.1	▲10.0	0.0	0.0	▲11.1	10.0	0.0
サ	ー	▲5.0	▲14.2	3.5	0.0	15.0	10.7	21.4	0.0
建	設	13.6	40.0	0.0	12.5	27.2	40.0	22.2	25.0
不	動	23.5	14.2	50.0	0.0	5.8	14.2	0.0	0.0

7月～9月の県内経済概況

(当金庫景気動向調査まとめ)

7月～9月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは▲2.3となり、前期比2.8ポイント下降となっています。

業種別の状況を見ると、製造業は▲9.6となり、前期比3.2ポイント下降、小売業は▲10.0となり、前期比3.4ポイント下降、卸売業は0.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、サービス業は▲5.0となり、前期比10.0ポイント下降、建設業は13.6となり、前期比9.1ポイント上昇、不動産業は23.5となり、前期比5.9ポイント上昇となっています。

地域別では、別府地区が▲4.4となり、前期比8.8ポイント下降、大分地区が0.0となり、前期比3.6ポイント上昇、県北地区が▲2.5となり、前期比2.5ポイント下降となっています。

業 種 別 景 況

製 造 業

● 当期(7月～9月)の景況

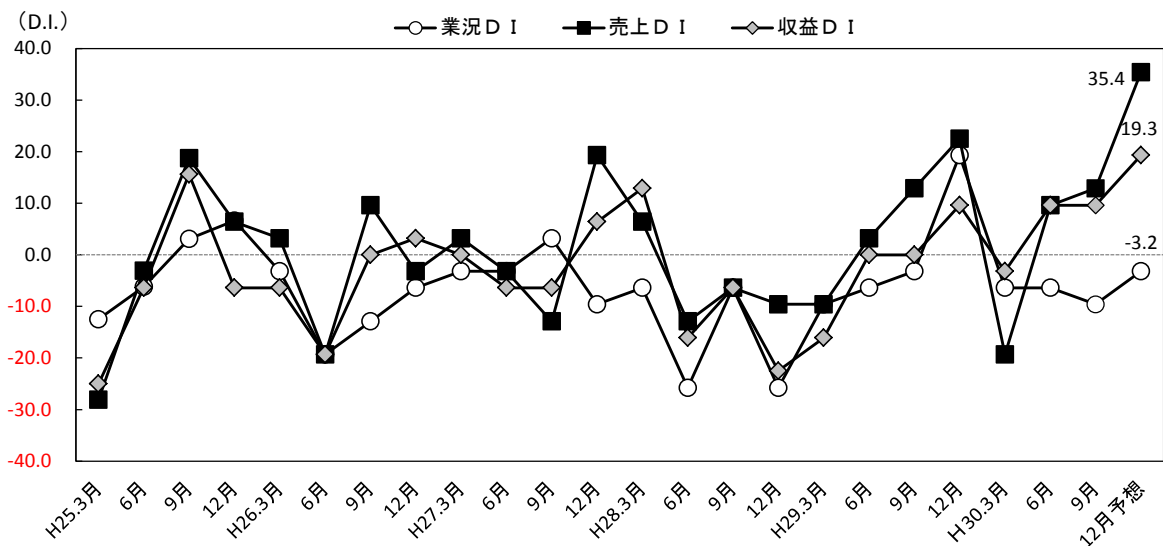
全域における業況DIは▲9.6となり、前期比3.2ポイント下降、前年同期比6.4ポイント下降となっています。売上DIは12.9となり、前期比3.3ポイント上昇、前年同期比0.0ポイントと同水準となっています。収益DIは9.6となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比9.6ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲12.5となり、前期比12.5ポイント下降、前年同期比18.7ポイント上昇、大分地区が▲20.0ポイントとなり、前期比20.0ポイント上昇、前年同期比20.0ポイント下降、県北地区が0.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比40.0ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲3.2となり、今期比6.4ポイント上昇となっています。売上予想DIは35.4となり、今期比22.5ポイント上昇となっています。収益予想DIは19.3となり、今期比9.7ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲12.5、大分地区が▲20.0、県北地区が20.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	15.3%
売上停滞・減少	13.8%
原材料高	9.2%
同業者間の競争激化	7.6%
工場・機械の狭小・老朽化	7.6%

最重要経営施策

販路拡大	25.3%
経費節減	19.4%
人材確保	11.9%
情報力強化	8.9%
特になし	7.4%

経営者のみなさまの主なコメント

- 製造業全体で景気は上向き傾向。当社も増収増益にて推移する見込み。(精密機械器具)
- 6～7月中に原材料の木材価格が上昇したが、さらなる上昇が見込まれる場合、仕入業者の変更も検討している。7月は受注が多く、例年より収益が上がった。(家具)
- 売上は横ばい圏で推移している。今後も丁寧な仕事で安定した売上計上を目指す。(豆腐・油揚げ)
- 夏場は、パンの販売を行っている学校等が長期休暇となるため売上が減少する。(パン)
- 現在、工場の移転に向けて会社内の「モノ(機械設備から事務用品等まで)」の大幅な見直しを行っている。(印刷業)
- 当社は経営基盤もしっかりしており業況も順調である。社長は高齢であるが、健康状態は良く、後継者も育てている。(土産品)
- 現状、業況は非常に厳しく、経営者が現役引退を考える状況ではない。(和菓子・パン)
- 減収減益が続いている、地区の人口減少に加え、問屋との取引が1先解消となった。(乳製品)

小 売 業

● 当期(7月～9月)の景況

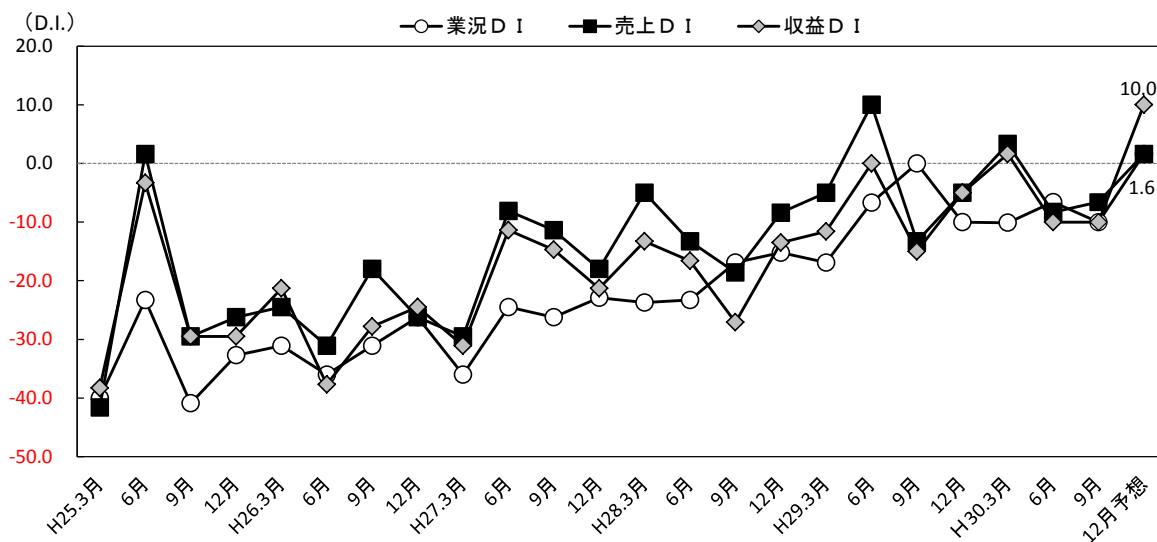
全域における業況DIは▲10.0となり、前期比3.4ポイント下降、前年同期比10.0ポイント下降となっています。売上DIは▲6.6となり、前期比1.7ポイント上昇、前年同期比6.7ポイント上昇となっています。収益DIは▲10.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比5.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲7.6となり、前期比7.6ポイント下降、前年同期比7.6ポイント下降、大分地区が▲7.6となり、前期比3.9ポイント上昇、前年同期比0.0ポイントと同水準、県北地区が▲25.0となり、前期比12.5ポイント下降、前年同期比50.0ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは1.6となり、今期比11.6ポイント上昇となっています。売上予想DIは1.6となり、今期比8.2ポイント上昇となっています。収益予想DIは10.0となり、今期比20.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲8.0、大分地区が11.5、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	21.2%
同業者間の競争激化	14.1%
大型店競争激化	11.0%
取引先減少	8.6%
商圏人口減少	7.0%

最重要経営施策

経費節減	63.6%
品揃え改善	38.6%
売筋商品取扱	29.5%
特になし	27.2%
宣伝・広告強化	25.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- 猛暑の影響で、客足が減少した。(衣料品)
- 原油価格高騰により、仕入価格が上昇し、猛暑の影響で、燃料の売上も減少した。(燃料・米)
- 売上はますます好調に推移している。今後、設備投資も行う予定。(生花・鉢物)
- 同業他社との価格競争により利幅は減少している。主要(大口)取引先である、ホテル・旅館の夏季シーズンの宿泊状況(出足)が低調であり、第1四半期(6～8月)の売上高は前期に比べ減少している。(精肉)
- 先日、先代が亡くなったことで代表者が変わったが、以前と同様に運営している。(精肉)
- 地元のホテルを中心にコメを販売しているが、7・8月はホテルの稼働率が上昇するため、売り上げは増える傾向にある。現在、取引先の減少が課題と捉えている。(製米・炭)
- 猛暑の影響で、販売先の飲食店の客足が悪く、例年よりも氷が売れていない。商圏の人口減への対策として、不動産賃借業も行っている。(氷)
- 少子化の影響により、小中学校のクラス減が進んでいるため、売上にも多少影響している。(学用品)
- バイク人口は減少しているものの、固定客が多く、自動二輪販売の売上は安定している。(自動二輪車)
- 売上は前期比やや増加しており、後継者も順調に育っている。(自動車小売販売)

卸 売 業

● 当期(7月～9月)の景況

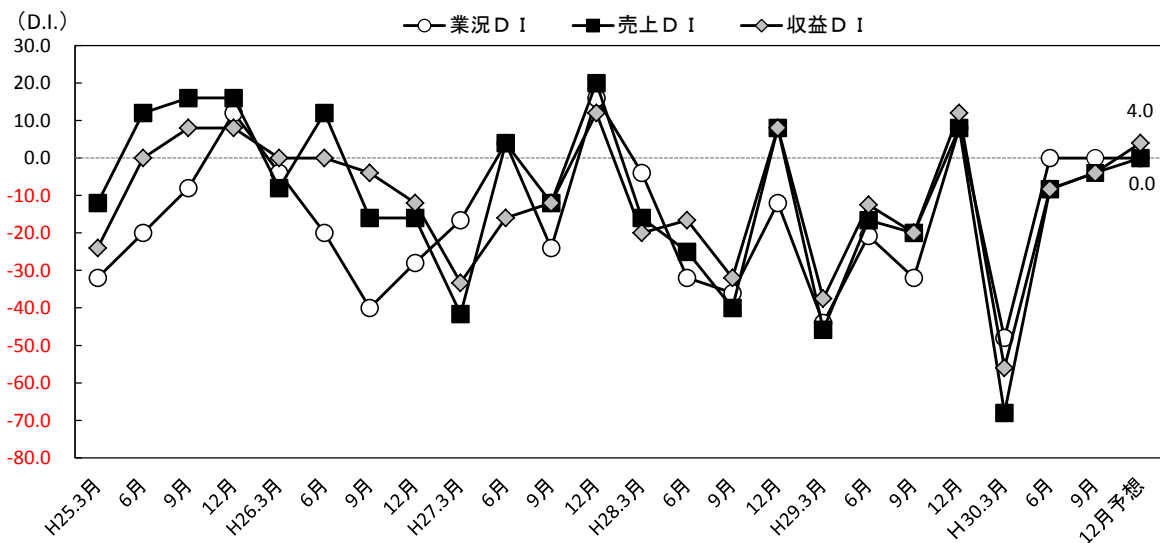
全域における業況DIは0.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比32.0ポイント上昇となっています。売上DIは▲4.0となり、前期比4.3ポイント上昇、前年同期比16.0ポイント上昇となっています。収益DIは▲4.0となり、前期比4.3ポイント上昇、前年同期比16.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が11.1となり、前期比11.1ポイント上昇、前年同期比55.5ポイント上昇、大分地区が▲10.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比30.0ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期比16.6ポイント下降、前年同期比0.0ポイントと同水準となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは0.0となり、今期比0.0ポイントと同水準となっています。売上予想DIは0.0となり、今期比4.0ポイント上昇となっています。収益予想DIは4.0となり、今期比8.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲11.1、大分地区が10.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	17.6%
同業者間の競争激化	15.6%
人手不足	15.6%
天候不順	9.8%
利幅縮小	9.8%

最重要経営施策

販路拡大	27.2%
情報力強化	20.4%
経費節減	18.1%
品揃えの充実化	9.0%
機械化推進	6.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- 今から繁忙期に入るため、人件費等の経費が増加していく見込み。今後、機械化の推進を図り、大幅な経費削減を目指す方針。(カレンダー等)
- 夏場はどうしても売上は落ち込む。(塗料)
- 仕入価格について、前期とほとんど変化はない。これまで仕入れ先は中国が中心であったが、今後、より仕入価格の安い東南アジアへの変更を検討している。(竹製品)
- 社長が一人体制で運営しているため、さらなる効率化を常に考えている。事務所を自宅に移すことを検討中。(日用品)
- 営業年数は長く、古くからの取引先は多いものの、県外競合先との競合により売上は減少している。(建築材)
- 長男への事業承継を検討中である。(包装資材等)

サービス業

● 当期(7月～9月)の景況

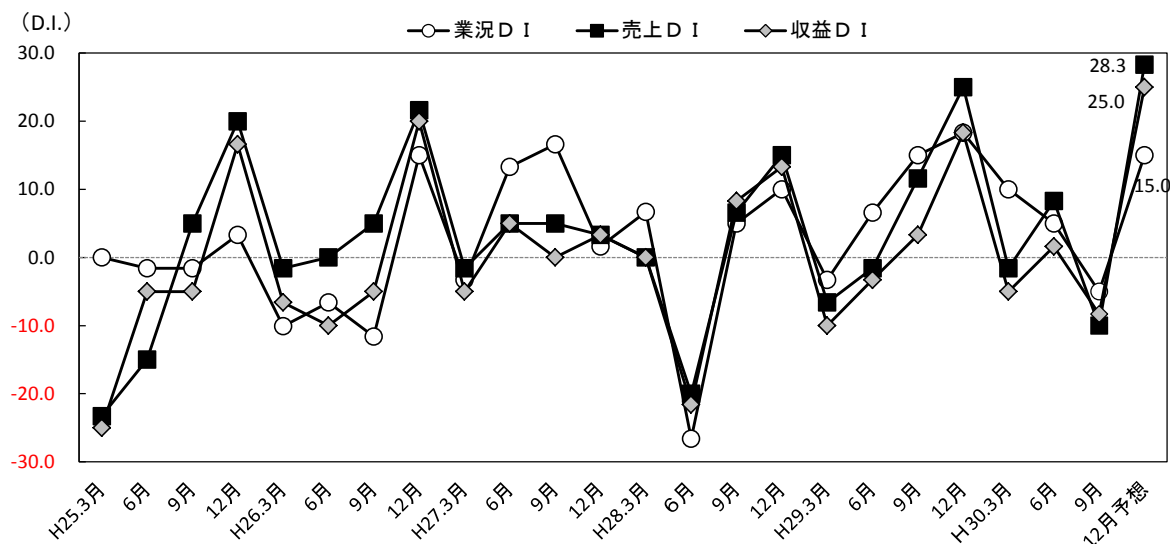
全域における業況DIは▲5.0となり、前期比10.0ポイント下降、前年同期比20.0ポイント下降となっています。売上DIは▲10.0となり、前期比18.3ポイント下降、前年同期比21.6ポイント下降となっています。収益DIは▲8.3となり、前期比9.9ポイント下降、前年同期比11.6ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲14.2となり、前期比17.7ポイント下降、前年同期比39.2ポイント下降、大分地区が3.5となり、前期比7.2ポイント下降、前年同期比3.6ポイント下降、県北地区が0.0となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比0.0ポイントと同水準となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは15.0となり、今期比20.0ポイント上昇となっています。売上予想DIは28.3となり、今期比38.3ポイント上昇となっています。収益予想DIは25.0となり、今期比33.3ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が10.7、大分地区が21.4、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点

人手不足	18.4%
同業者間の競争激化	12.6%
売上停滞・減少	12.6%
店舗・設備狭小・老朽化	10.0%
材料価格の上昇	6.7%

最重要経営施策

経費節減	21.1%
人材確保	17.8%
販路拡大	15.4%
宣伝・広告強化	8.9%
店舗・設備改装	7.3%

経営者のみなさまの主なコメント

- 売上はほぼ変わらないものの、顧客の高齢化が気になる。(理容業)
- 事業所が狭小であり、移転を検討中。排水等の問題が困難なため、なかなか前に進めていない。(貸しおしぼり業)
- ゴルフ場の経営、固定客が多く好調。(受付場内作業)
- 業況は良好。社長の資産は株式投資・不動産投資に充てられている。今後も安定推移が見込まれる。(重量物運搬)
- 後継者に託せるような業容になるまで現役を続ける見込み。(飲食業)
- 郊外店のため駐車場用地を確保できれば、さらに売上は伸びると思われる。(飲食業)
- インバウンドが好調であるが、従業員の確保スキルアップが課題。(宿泊業)
- 今年の夏は暑かったことから来店客が少なく、店舗の売上は減少したものの、外回りの注文については、特に影響はなかった。(クリーニング業)
- 第3四半期(4～6月)は、ゴールデンウィーク以降の客足の伸び悩みから、宿泊客数は減少したが1室あたり300円～500円の単価(設定)上昇により、例年並みの売上を確保。今後は、4～7月の閑散期に限定してインバウンド客を誘致する試みを行ってみる予定。(宿泊業)

建設業

● 当期(7月～9月)の景況

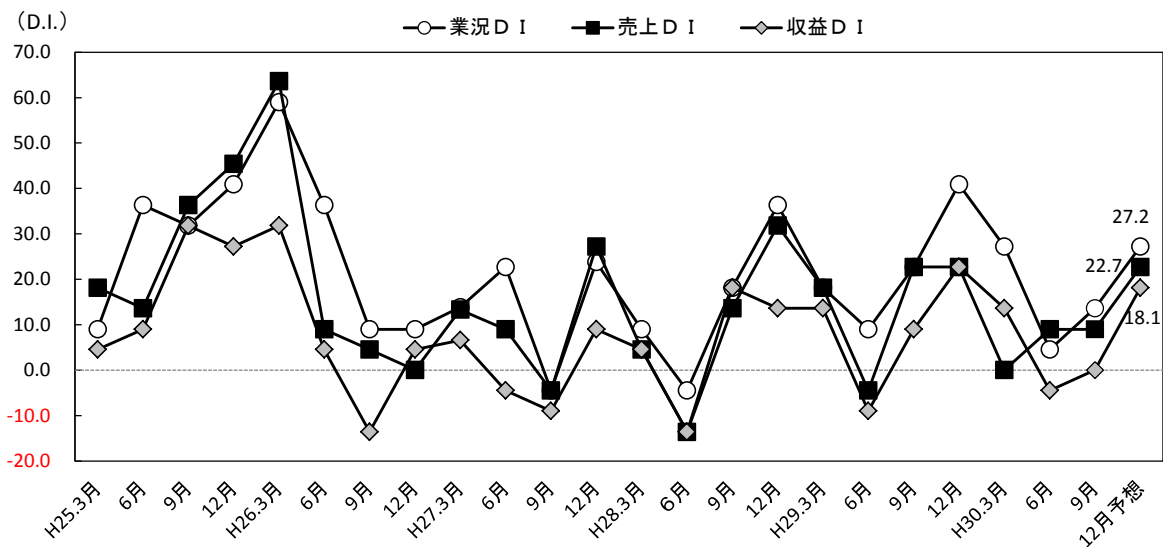
全域における業況DIは13.6となり、前期比9.1ポイント上昇、前年同期比9.1ポイント下降となっています。売上DIは9.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比13.7ポイント下降となっています。収益DIは0.0となり、前期比4.5ポイント上昇、前年同期比9.0ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が40.0となり、前期比20.0ポイント上昇、前年同期比0.0ポイントと同水準、大分地区が0.0となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比22.2ポイント下降、県北地区が12.5となり、前期比12.5ポイント上昇、前年同期比0.0ポイントと同水準となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは27.2となり、今期比13.6ポイント上昇となっています。売上予想DIは22.7となり、今期比13.7ポイント上昇となっています。収益予想DIは18.1ポイントとなり、今期比18.1ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が40.0、大分地区が22.2、県北地区が25.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	25.0%
同業者間の競争激化	18.1%
売上停滞・減少	11.3%
材料価格の上昇	9.0%
利幅縮小	9.0%

最重要経営施策

経費節減	27.9%
人材確保	23.2%
販路拡大	18.6%
技術力向上	9.3%
情報力強化	9.3%

経営者のみなさまの主なコメント

- 元請けからの受注は安定しているため、業況は堅調に推移している。販路拡大、経費節減を引き続き行う方針。(建設業)
- 人手不足が一番の課題。未経験者でも可としており、育てることに力を入れているが、長続きしない。(一般土木建築業)
- 公共工事の受注は例年通りであるが、住宅部門の受注は増えている。(建設業)

不 動 産 業

● 当期(7月～9月)の景況

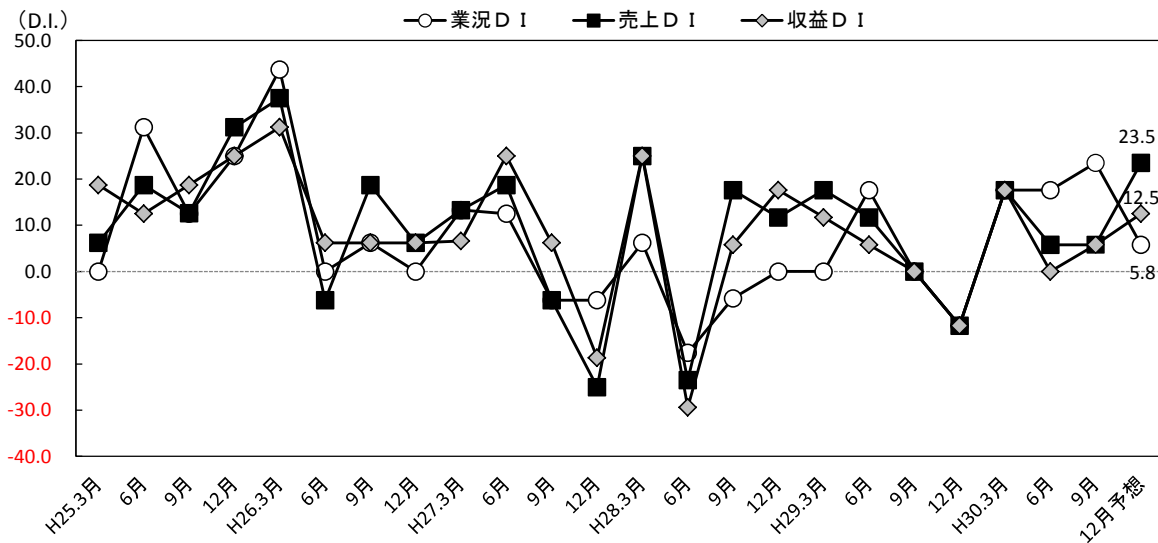
全域における業況DIは23.5となり、前期比5.9ポイント上昇、前年同期比23.5ポイント上昇となっています。売上DIは5.8となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比5.8ポイント上昇となっています。収益DIは5.8となり、前期比5.8ポイント上昇、前年同期比5.8ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が14.2となり、前期比14.3ポイント下降、前年同期比0.0ポイントと同水準、大分地区が50.0となり、前期比50.0ポイント上昇、前年同期比66.6ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期比25.0ポイント下降、前年同期比0.0ポイントと同水準となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは5.8となり、今期比17.7ポイント下降となっています。売上予想DIは23.5となり、今期比17.7ポイント上昇となっています。収益予想DIは12.5となり、今期比6.7ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が14.2、大分地区が0.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	27.2%
大手企業との競争激化	15.1%
商品物件不足	15.1%
人手不足	12.1%
問題なし	9.0%

最重要経営施策

情報力強化	37.1%
宣伝・広告強化	17.1%
販路拡大	14.2%
提携先探す	5.7%
特になし	5.7%

経営者のみなさまの主なコメント

- 不動産管理・仲介業に加え建売業も営んでおり、今後のビジョンもしっかり考えている。(仲介業・貸家業)
- グループ全体で安定した業績で推移しており、特に問題はない。(不動産業)
- 不動産仲介業を主体として堅実に経営している。(不動産仲介業)
- オリンピック、災害復興特需の影響で、土地・建物の販売・売却価格が値上がりが続けているが、今後の急な下落を懸念している。(不動産仲介業)
- 株、不動産等で個人資産を増やしている。(不動産・建設業)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	7月～9月実績	△ 2.3	△ 9.6	△ 10.0	0.0	△ 5.0	13.6	23.5
	10月～12月予想	7.5	△ 3.2	1.6	0.0	15.0	27.2	5.8
売 上	7月～9月実績	△ 1.9	12.9	△ 6.6	△ 4.0	△ 10.0	9.0	5.8
	10月～12月予想	17.7	35.4	1.6	0.0	28.3	22.7	23.5
受 注 残	7月～9月実績	15.1	16.1	***	***	***	13.6	***
	10月～12月予想	17.0	16.1	***	***	***	18.1	***
施工高	7月～9月実績	13.6	***	***	***	***	13.6	***
	10月～12月予想	18.2	***	***	***	***	18.1	***
収 益	7月～9月実績	△ 3.7	9.6	△ 10.0	△ 4.0	△ 8.3	0.0	5.8
	10月～12月予想	15.9	19.3	10.0	4.0	25.0	18.1	12.5
販売価格	7月～9月実績	7.8	9.6	6.6	17.2	3.3	0.0	17.6
	10月～12月予想	10.0	9.6	3.3	8.0	17.7	13.6	11.7
仕入価格	7月～9月実績	18.1	19.3	16.6	24.0	15.0	18.1	23.5
	10月～12月予想	13.6	6.4	10.1	24.0	15.0	13.6	17.6
在庫	7月～9月実績	△ 1.9	0.0	0.0	4.0	***	0.0	△ 23.5
	10月～12月予想	0.0	3.2	3.3	4.0	***	0.0	△ 23.5
資金繰り	7月～9月実績	△ 7.4	△ 9.6	△ 16.6	8.0	△ 6.6	△ 4.5	0.0
	10月～12月予想	△ 2.3	△ 6.4	△ 11.6	4.0	1.6	9.0	0.0
残業時間	7月～9月実績	0.5	3.2	0.0	12.0	△ 8.3	4.5	5.8
	10月～12月予想	0.9	△ 3.2	0.0	4.0	1.6	4.5	0.0
人手状況	7月～9月実績	△ 22.9	△ 22.5	△ 11.8	△ 24.0	△ 26.6	△ 36.3	△ 29.4
	10月～12月予想	△ 24.8	△ 25.8	△ 13.5	△ 20.0	△ 33.3	△ 31.8	△ 29.4

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	7月～9月実績	△ 4.4	△ 12.5	△ 7.6	11.1	△ 14.2	40.0	14.2
	10月～12月予想	1.1	△ 12.5	△ 8.0	△ 11.1	10.7	40.0	14.2
売 上	7月～9月実績	0.0	6.2	0.0	11.1	△ 10.7	20.0	0.0
	10月～12月予想	14.3	37.5	△ 11.5	11.1	21.4	20.0	28.5
受 注 残	7月～9月実績	19.0	12.5	***	***	***	40.0	***
	10月～12月予想	19.0	25.0	***	***	***	0.0	***
施工高	7月～9月実績	20.0	***	***	***	***	20.0	***
	10月～12月予想	20.0	***	***	***	***	20.0	***
収 益	7月～9月実績	1.1	18.7	△ 3.8	0.0	△ 7.1	20.0	0.0
	10月～12月予想	16.7	31.2	3.8	22.2	21.4	20.0	0.0
販売価格	7月～9月実績	12.1	12.5	11.5	33.3	3.5	0.0	28.5
	10月～12月予想	9.9	12.5	0.0	11.1	17.8	0.0	14.2
仕入価格	7月～9月実績	20.9	18.7	15.3	22.2	21.4	20.0	42.8
	10月～12月予想	17.6	12.5	7.6	33.3	21.4	20.0	28.5
在庫	7月～9月実績	△ 4.8	△ 6.2	0.0	0.0	***	0.0	△ 28.5
	10月～12月予想	△ 1.6	0.0	3.8	0.0	***	0.0	△ 28.5
資金繰り	7月～9月実績	△ 13.2	△ 25.0	△ 30.7	22.2	△ 3.5	△ 20.0	0.0
	10月～12月予想	△ 2.2	△ 12.5	△ 23.0	22.2	10.7	20.0	0.0
残業時間	7月～9月実績	△ 2.2	0.0	0.0	11.1	△ 10.7	0.0	0.0
	10月～12月予想	0.0	△ 6.2	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0
人手状況	7月～9月実績	△ 22.0	△ 25.0	△ 11.5	△ 11.1	△ 28.5	△ 40.0	△ 28.5
	10月～12月予想	△ 25.3	△ 25.0	△ 11.5	△ 11.1	△ 39.2	△ 40.0	△ 28.5

大分地区

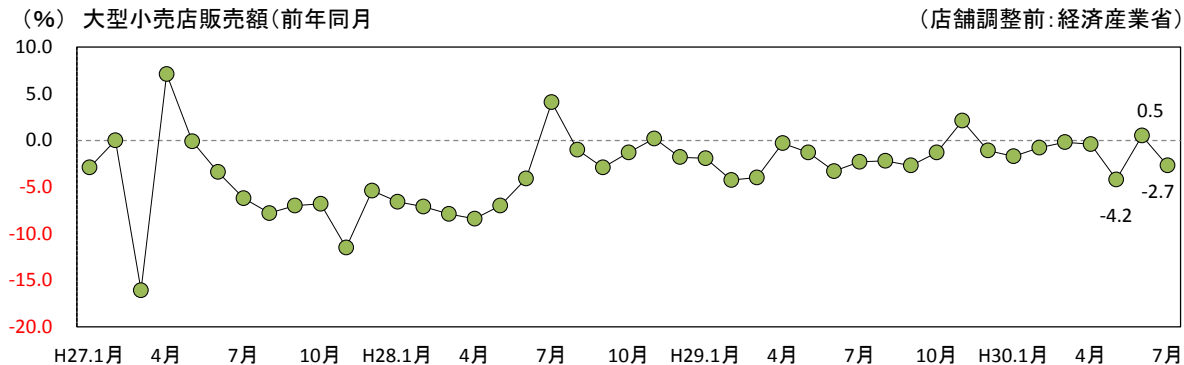
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	7月～9月実績	0.0	△ 20.0	△ 7.6	△ 10.0	3.5	0.0	50.0
	10月～12月予想	13.1	△ 20.0	11.5	10.0	21.4	22.2	0.0
売 上	7月～9月実績	△ 2.4	40.0	△ 19.2	0.0	△ 7.1	0.0	50.0
	10月～12月予想	22.6	0.0	23.0	10.0	32.1	22.2	16.6
受 注 残	7月～9月実績	7.1	20.0	***	***	***	0.0	***
	10月～12月予想	7.1	△ 20.0	***	***	***	22.2	***
施工高	7月～9月実績	11.1	***	***	***	***	11.1	***
	10月～12月予想	11.1	***	***	***	***	11.1	***
収 益	7月～9月実績	△ 9.5	△ 20.0	△ 23.0	10.0	△ 17.8	0.0	50.0
	10月～12月予想	19.0	△ 20.0	23.0	10.0	28.5	11.1	16.6
販売価格	7月～9月実績	2.4	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	16.6
	10月～12月予想	5.9	0.0	3.8	10.0	3.5	11.1	16.6
仕入価格	7月～9月実績	11.9	20.0	11.5	30.0	3.5	11.1	16.6
	10月～12月予想	8.4	0.0	4.0	30.0	3.5	11.1	16.6
在庫	7月～9月実績	△ 3.5	0.0	0.0	0.0	***	0.0	△ 33.3
	10月～12月予想	△ 1.8	0.0	3.8	0.0	***	0.0	△ 33.3
資金繰り	7月～9月実績	△ 4.8	△ 20.0	△ 7.6	10.0	△ 10.7	11.1	0.0
	10月～12月予想	△ 4.8	△ 40.0	△ 3.8	0.0	△ 7.1	11.1	0.0
残業時間	7月～9月実績	1.2	0.0	0.0	20.0	△ 7.1	0.0	16.6
	10月～12月予想	1.3	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
人手状況	7月～9月実績	△ 26.5	△ 40.0	△ 12.0	△ 30.0	△ 28.5	△ 33.3	△ 50.0
	10月～12月予想	△ 26.5	△ 40.0	△ 16.0	△ 20.0	△ 28.5	△ 33.3	△ 50.0

県北地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	7月～9月実績	△ 2.5	0.0	△ 25.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	10月～12月予想	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
売 上	7月～9月実績	△ 5.0	10.0	12.5	△ 33.3	△ 25.0	12.5	△ 50.0
	10月～12月予想	15.0	50.0	△ 25.0	△ 33.3	50.0	25.0	25.0
受 注 残	7月～9月実績	16.7	20.0	***	***	***	12.5	***
	10月～12月予想	22.2	20.0	***	***	***	25.0	***
施工高	7月～9月実績	12.5	***	***	***	***	12.5	***
	10月～12月予想	25.0	***	***	***	***	25.0	***
収 益	7月～9月実績	△ 2.5	10.0	12.5	△ 33.3	50.0	△ 12.5	△ 50.0
	10月～12月予想	7.5	20.0	△ 12.5	△ 33.3	25.0	25.0	25.0
販売価格	7月～9月実績	7.5	10.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0
	10月～12月予想	10.0	10.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0
仕入価格	7月～9月実績	25.0	20.0	37.5	16.6	50.0	25.0	0.0
	10月～12月予想	15.0	0.0	37.5	0.0	50.0	12.5	0.0
在庫	7月～9月実績	5.6	10.0	0.0	16.6	***	0.0	0.0
	10月～12月予想	5.6	10.0	0.0	16.6	***	0.0	0.0
資金繰り	7月～9月実績	0.0	20.0	0.0	△ 16.6	0.0	△ 12.5	0.0
	10月～12月予想	2.5	20.0	0.0	△ 16.6	0.0	0.0	0.0
残業時間	7月～9月実績	5.0	10.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	10月～12月予想	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
人手状況	7月～9月実績	△ 17.5	△ 10.0	△ 12.5	△ 33.3	0.0	△ 37.5	0.0
	10月～12月予想	△ 20.0	△ 20.0	△ 12.5	△ 33.3	△ 25.0	△ 25.0	0.0

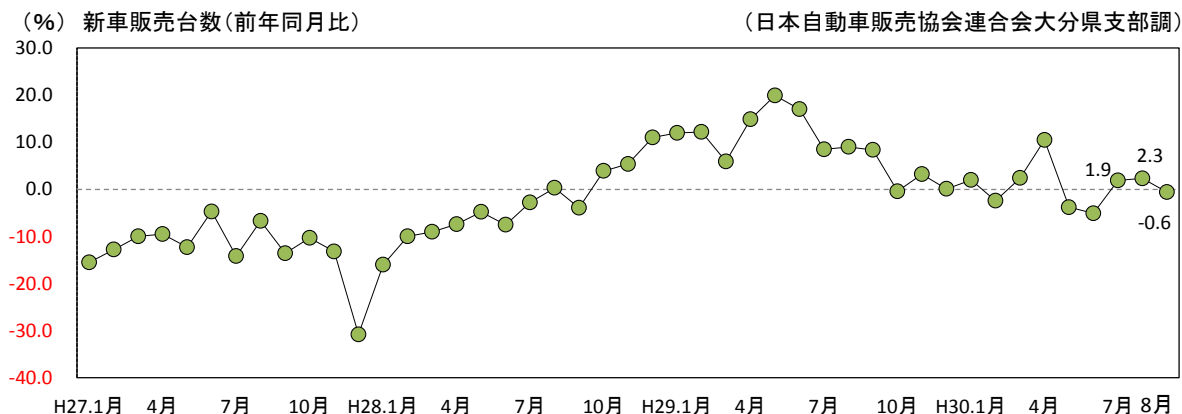
県内大型小売店販売額

平成30年7月の大型小売店販売額は99億円で、前年同月比2.7ポイント下降となっています。品目別では、衣料品が前年同月比6.4ポイント下降、飲食料品が0.4ポイント下降、その他の商品が3.8ポイント下降となっています。



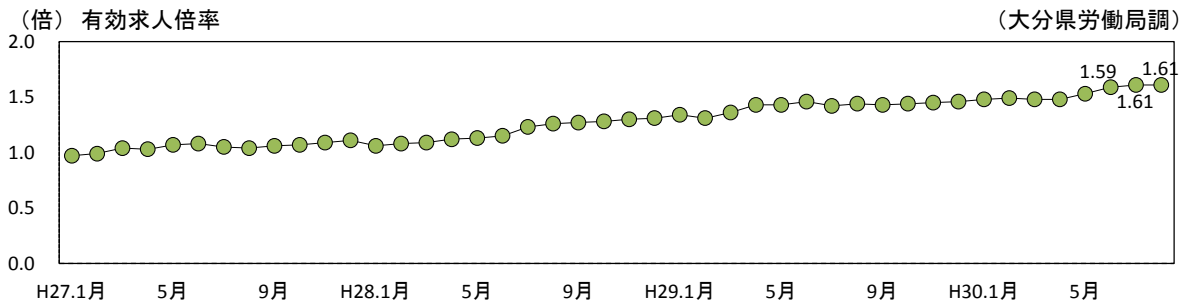
県内新車販売台数

平成30年9月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は4,978台で前年同月を0.6%下回りました。車種別では、普通乗用車が1,204台で前年同月比2.0%増、小型乗用車が1,037台で前年同月比11.8%減となりました。また、軽四輪車の合計は2,388台で前年同月比4.2%増となりました。



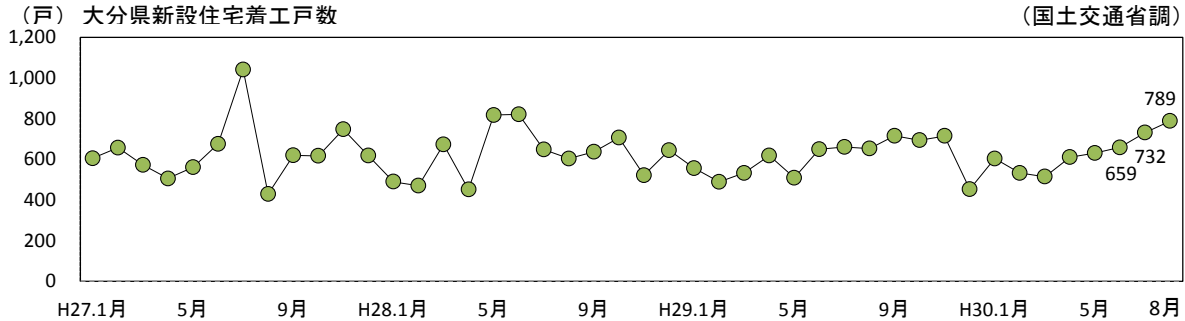
県内有効求人倍率

平成30年8月の有効求人倍率は、前月と同水準の1.61倍となりました。地域別でみると、大分管内1.83倍(前月比+0.08ポイント)、別府管内1.25倍(前月比+0.05ポイント)、中津管内1.45倍(前月比▲0.07ポイント)と高水準を維持しております。



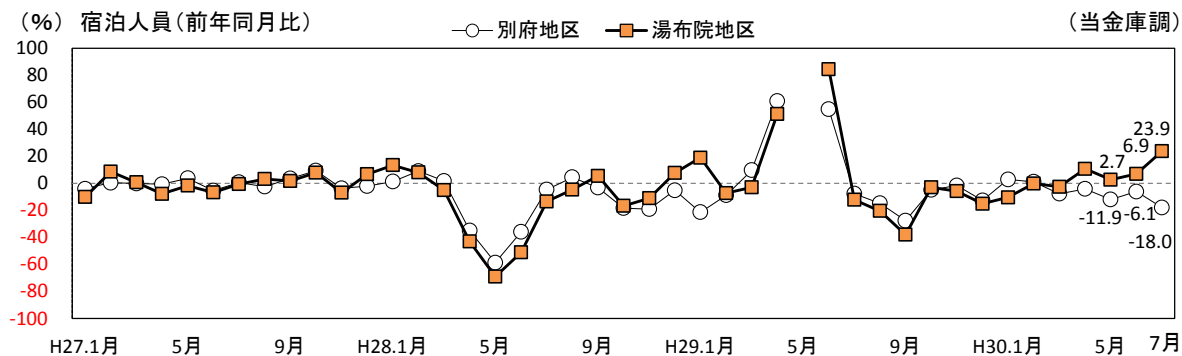
県内新設住宅着工戸数

平成30年8月の住宅着工戸数は789戸でした。そのうち、持家は244戸、貸家は295戸、分譲住宅は217戸となっています。



観光動向

平成30年7月の前年同月比宿泊人数は、別府地区で18.0ポイントの下降、湯布院地区で23.9ポイントの上昇となりました。
 ※宿泊人員(前年同月比)の折れ線グラフでは、29年5月のデータを省略しております(28年5月は震災の影響により宿泊人員が大幅に落ち込んだため)。29年5月の前年同月比宿泊人員データは、別府地区+143.7%、湯布院地区+170.4%となっています。



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、平成30年6月の県内企業倒産件数は2件で10億1千万円、7月は4件で60億3千8百万円、8月は3件で1億7千5百万円となっています。

